



アエファ

AEFA 通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒150-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F
電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721



先生と生徒がいて ～ラオス サボン村



ラオス南部山岳地帯のサボン村には、村人手作りの、1部屋だけの”学校”があります。35歳と18歳の2人のボランティア先生が、授業と生計をたてるための畑仕事を交互にしながら、子どもたちに算数と国

語を教えています。

ここの教材は、教科書とチョークと黒板だけ。子どもたちは、ノートもえんぴつも教科書も持っていません。

ラオス語の授業が始まり、先生が黒板に教科書を板書し、棒で一文字ずつ指しながら音読します。

AEFAスタッフのカメラやビデオが気になってざわついていた教室が、しんと静まり返ります。子どもたちは、真剣な表情で黒板の文字と先生の声に集中。先生が読み終わると、子どもたちが順番に一人ずつ前に出て、発音します。発音があやふやだと、何度も先生に繰り返し指導され、正しく発音できるまで練習します。（ラオス語には4つの声調があります。）



ラオス語の授業

子どもたちの集中力に驚かされるとともに、ここには本当に何もなければ、先生と生徒がいて、学ぶ意欲がある・・・教育の原点を見た思いがしました。



＜遠藤事務局長が行く ラオス出張レポート＞ 2008年度建設候補校を視察



AEFA TYPE SCHOOLを説明



ノンチュア村の旧校舎

ラオスでは、今年も何校かの学校建設を予定していますが、その候補地の一つノンチュア村を訪問したときの事です。広い校庭に、古い校舎が一棟。屋根を通して太陽が透けて見えるような教室で、地域の方々との打ち合わせが行われました。地域教育行政の責任者、村長、自治会長、学校長などが勢ぞろいし、皆、熱心です。

「村民1000人が一致団結して、学校建設に協力します。」

「近くに、村が持つ森林があるので、木材の準備も大丈夫です。」

などなど、前向きな意見が多く出て、学校建設に対する大きな期待が伝わってきました。

まさに「村の子どもたちのため」そして「村民みんなのため」の、コミュニティー・スクールづくりへの熱気を感じました。

武蔵村山第八小学校

ラオスの学校と「絵手紙」と「野菜」の交流

ふれっチャタイム（地域交流活動）で教えてもらっている絵手紙。でんでん太鼓や紙風船などの日本の昔のおもちゃや、日本の冬の野菜を描いた作品を、AEFAスタッフがパチュドンの子どもたちに紹介しました。かぼちゃやさつまいも、なすはラオスの子どもにもおなじみですが、ラディッシュやれんこん、アスパラガスは、ラオスの山奥にはありません。パチュドンの子どもも、「好きな野菜」をテーマにパパイヤやかぼちゃやなすの絵を描きました。パチュドンでは、学校菜園でかぼちゃ・なす・きゅうり・まめ・菜の花・青梗菜などを育てています。武蔵村山第八小と、同じ野菜を日本とラオスで育てる計画も進んでいます。

地理的には遠く離れた2つの学校ですが、”同じ野菜”がどんな風に育つのか、どんな風に料理して食べるのか、これからの交流が楽しみです。



パチュドン小学校で紹介された 絵手紙



江戸川区立平井第二小学校

子ども親善大使交流活動発表会

2月4日、体育館で活動発表会が開かれ、活動の感想や交流作品が紹介されました。大使たちの活動は、主に昼休みを使って行われ、「わかばと新聞」「自己紹介カード」などを作りました。



「しんぜんたいしになってうれしかったです。はじめはたいへんだと思ったけど、やってみたらたのしかったです。だんだんたいへんになってきたけど、しゃしんをしんぶんのにのせてもらえてうれしかったです。ベトナムの人に読んでもらいたいです。」

(K.Hちゃん)

これらの作品は、2/21にベトナム中部高原のクルーン小学校に届けられます。お返事が楽しみです！

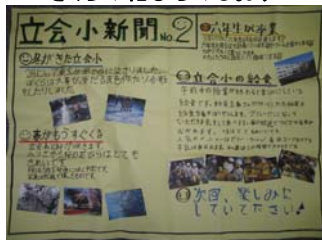
ベトナムへ贈る作品

品川区立立会小・紫波町立星山小

立会小からは、春に学校を彩る桜の花びらの形の美しいしおりと、代表委員のみなさんからのおたより、「立会小新聞No.2」が届きました。壁新聞には、校庭に積もった雪で作った雪だるまや、桜の写真で四季を紹介したり、学校給食の人気メニュー（ゼリー・ラーメン）を紹介しました。



さくらの花びらのしおり



立会小新聞No.2

星山小では、木造校舎のシンボルとなっている赤い柱～元気が出る魂の色～のスギの木について、三角形の窓の意味～みんなの心がつながるように～などを調べて壁新聞「Tree」を作りました。

星山小もフーカンB小の図書室も、AEFA佐川専務理事による木を用いた設計で、「地域性」や「こころ」を大切にされた建物です。



Tree 壁新聞 ～ 星山小

中野区向台小学校

学校生活や おそうじを紹介！



おそうじについて紹介

石澤校長先生が、5年生が総合学習の時間に作った、校舎や学校生活や地域を紹介した作品をAEFA事務所に届けてくださいました。先生からも、メッセージをいただきました。



石澤博通校長先生

「皆さんと日本の子どもたちが仲良くなり、将来一緒に世界のために活躍できるように願っています。」

向台小の子どもたちは、ニャックレオ小のあるベトナム・中部高原の少数民族の集会所の飾りや、衣装にとっても興味を持っているとのことです。これらの作品は、2/20にニャックレオ小のお友だちに届けられる予定です。

倉敷市立玉島南小学校

「たまちゃん」「しまちゃん」て、だあれ？

たまちゃんとしまちゃんは、ラオス・ノンデュン小で飼われる牛の名前です。

倉敷市玉島南小の子どもたちと、地域のみなさまのご協力でアルミ缶回収運動が行われ、収益33,000円がAEFAに寄付されました。このお金で、地区の中でも最貧村であるノンデュンで牛のつがいを飼い、子牛を育てることになりました。もちろん、子牛が生まれたら「みなみちゃん」と名前をつける予定です。みなさん、どうも有り難うございました！



児童のみなさんがアルミ缶集めで得た収益を、AEFA谷川理事長に手渡しました

AEFAからのお知らせ～

フレンドシップ校のみなさまへ～

来年度の具体的な取り組み・活動の年間計画について、3月にかけて、ご相談させていただきたく存じます。どうぞ宜しくお願い致します。